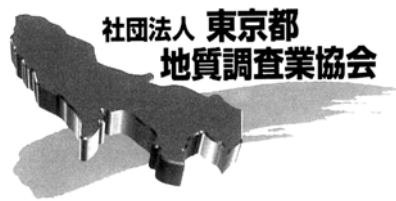


東地協ニュース 2008.夏 第14号



技術ノート取材奮戦記

技術副委員長 西原 聡

技術ノートは昭和62年12月の創刊以来、今年9月に発刊予定の「協会法人化10周年記念号」で41号となる。この間「東京の・・・」をテーマに、地形・地質との関連性の中から東京のあちこちを紹介してきた。技術ノートは、一般の方々に「東京」の側面を通じて、地形・地質を説明しながら地質調査業を少しでも興味を持って頂き、業界の発展に僅かでも貢献することを目的に創刊された自主作成の冊子である。かつては年2~3回発刊していたが、予算上の問題と技術委員への負担を考慮して、平成14年度以降は年1回(11月)の発刊となっている。

執筆工程は、テーマ選定も含めて4月から開始するため、テーマ決定(5月) 資料収集・取材先選定(7月) 取材(8月) 原稿執筆(9月) 編集作業(10月)となる場合が多い。このため、現地取材は真夏の炎天下になることが多く、昨年の「隅田川」の取材では、7月末、お盆前、お盆休み、9月半ばの4回現地取材を行っている。事前に書物やインターネット、人の話を入手して現地取材に行き、写真を撮るものの、イメージがなかなかつかめず、結局何回か行くことになる。現地のイメージがどうしてもつかめない場合には、広尾にある東京都立図書館の「東京コーナー」に行き、頭の中を再整理する。そんなことを繰り返すうちに、原稿締め切り期日が迫り右往左往するが、それでもイメージを文書にしながらかんたか書き上げる。実際、原稿執筆後も現地で再度写真を撮り、写真を差し替える場合もある。昨年の「隅田川」の取材では、両国橋に3回足を運んだ。採用する写真は撮った写真のうち1/10程度である。

技術ノートは、現在5名で執筆しているため、各委員概ね1章を担当する。9月の編集作業は、各担当の表現の統一や重複を一気にまとめる作業である。紆余曲折があり、印刷屋さんにも初稿持ち込み、数回のやりとりのあと、グレースチェック済みようやく完成を迎える。気が付くと暑い真夏の取材から2ヶ月がたち秋風が吹き始めている。ただし、今年は記念号のため、通常の工程より2ヶ月早く発刊するため、お盆明けの原稿完成を目指して各担当委員は奮戦中である。記念号をお楽しみに。



会議報告等

1. 20年4月21日 理事会

- (1) 平成 19 年度収支決算報告について
- (2) 平成 20 年度収支予算案の一部修正について
- (3) 第 21 回通常総会について (5 月 23 日開催)
- (4) CPD 協議会について
- (5) 社団法人 10 周年記念事業について
- (6) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 13 号について
 - 2) 委員の交替について
- (7) 広報委員会関係
 - 1) P R 活動(春季)について
- (8) 技術委員会関係
 - 1) 「土壌・地下水汚染調査実務の基礎知識」講習会企画について
 - 2) 技術ノート「社団法人 10 周年記念号」について
 - 3) 地質見学会の開催について (10 月頃を予定)
 - 4) 建築改正法に伴い変更 (地盤情報) の説明会の開催について検討
- (9) 新年広告掲載について(建通新聞・1 月 1 日号掲載)
- (10) 公益法人制度改革について
- (11) 技術ノート No.40 (隅田川)

2. 20年5月23日 理事会 (総会前)

- (1) 第 21 回通常総会の進行について
- (2) 平成 20 年度東京都予算時に対する要望
- (3) 社団法人 10 周年記念事業について

3. 第 21 回通常総会(決算), 懇親会

第 21 回通常総会が 5 月 23 日(金)測量地質健保会館 7 階大会議室において開催された。当日は会員数 41 社に対し、35 社が出席 (うち委任状提出 12 社)。議事の概要は以下の通り。

- (1) 平成 19 年度事業報告承認の件
- (2) 平成 19 年度収支決算報告承認の件
- (3) 平成 20 年度事業計画変更承認の件
- (4) 平成 20 年度収支予算変更承認の件

全議案ともに異議無く承認された。



総会終了後に金道副会長より、独占禁止法の改正点と談合の社会的背景についての説明がされた。



17 時からは会場を銀座ライオン池袋西口店に移し、懇親会を開催した。



委員会報告

【 総務委員会 】

4月総務委員会 平成20年4月22日

- (1) 委員の交替について
- (2) 東地協ニュース13号について
- (3) 第21回通常総会について
- (4) 平成19年度決算及び20年度事業・予算変更について

5月総務委員会 平成20年5月28日

- (1) 東地協ニュース14号について
- (2) 社団法人10周年記念事業について
- (3) 平成20年4月収支報告について

【 広報委員会 】

広報委員会各委員により関係各所に技術ノート40号、協会パンフレット等を配布しPR活動中(6月～7月)

【 技術委員会 】

4月技術委員会 平成20年4月9日

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成20年度の活動計画について
- (3) 技術ノート41号(協会法人化10周年記念号)編集作業予定について
- (4) 地質見学会実施計画について
平成20年10月15日(水)開催予定
- (5) 土壤地下水汚染調査技術勉強会の開催について
- (6) (社)日本環境測定分析協会の講習会について
- (7) 分析ラボ見学会の実施について

5月技術委員会 平成20年5月14日

- (1) ジオスクリーングネットへの加入報告
- (2) 技術ノート41号(協会法人化10周年記念号)編集作業報告と今後の予定について
- (3) 地質見学会について
平成20年10月15日(水)開催
- (4) 土壤地下水汚染調査技術勉強会について
平成20年7月4日(金)開催
- (5) (社)日本環境測定分析協会の講習会について
平成20年10月10日(金)開催予定

- (6) 分析ラボ見学会の実施について
昨年同様10月末の開催を予定

6月技術委員会 平成20年6月12日

- (1) 技術ノート41号(協会法人化10周年記念号)編集作業報告と今後の予定について
- (2) 地質見学会について
平成20年10月15日(水)開催
- (3) 土壤地下水汚染調査技術勉強会について
平成20年7月4日(金)開催
- (4) (社)日本環境測定分析協会の講習会について
平成20年10月10日(金)開催予定
- (5) 分析ラボ見学会の実施について



会員コーナー

狂言発表会、舞台は怖くてオモシロイ

日本の古典芸能『狂言』の魅力に取りつかれて早7年。観るだけでは物足りず、習いたいと思案していたところ縁あってプロの狂言師の素人弟子となりました。

稽古を始めて6年、今年5月31日に第三回となる発表会で初めて装束(衣装)を着けて能舞台に立つことができました。第一回は袴狂言(装束を着けずに袴で演じる)で、第二回は浴衣会(浴衣に袴)でしたので、ようやく装束を着けての本狂言となり、期待と不安が入り混じる中、これまででない新鮮な気持ちで舞台に向かいました。

演目は『膏薬煉(こうやくねり)』。上方(京都)と鎌倉(関東)の“自称・膏薬煉の大名”が互いの膏薬強さの自慢をするお話です。三間四方の能舞台、何も無い空間の中たった二人での物語の展開。お客様に正面・斜め・真横から囲むように見つめられて、日々の稽古が試されます。しかし…。舞台にはいつも“まさか”が潜んでいます。

本番、「お幕」という言葉が合図となって幕が上がります。まず鎌倉役の相方が出て行きます。そして上方役の自分。震える気持ちをぐっと抑え、最初の一步を踏み出しました。

舞台は順調に進みます。お客様の反応も良く、まずまずの感触で前半まで終えました。そして後半、見所の『膏薬競い合い』の場面は、“膏薬”である接着剤の紙を鼻にペタリと貼り付け、お互いを引っ張り合い強さを競います。ところが…。肝心の膏薬が動くたびにヒラヒラ鼻から剥がれてゆく！まさか！稽古ではあんなに粘着力が強かったはずが！それでも最初のうちは演技に紛れて着け直していましたが、ついに、一番の勝負どころで一同無言の「あっ…」という空気が。膏薬がひらりひらりと舞い落ちて…。

能舞台でトラブルが発生した時は、“後見”という責任者(プロ)が控えていて対応をしてくれます。落ちた膏薬を拾い渡そうとしてくれるのですが、何といっても演技中です。黒子のように私を追う後見と、かまわず前進する私の姿が、最大のトラブルを最大の笑いに変えてしまいました。まるで芸人さんお約束のオチ(本当に落ちてる...)のように。

そんなことも含めて「楽しかった」とたくさんの方に笑っていただきました。だから舞台は怖くてオモシロイ。

狂言は大きな発声と笑いでストレス発散にはもってこい、

明日への活力にもなります。ご興味ありましたらぜひご一報を！



浪方 理江
(株)地盤試験所

トピックス(協会行事紹介)

平成 20 年 5 月 23 日 講演会を開催

(社)全国地質調査業協会連合会 専務理事 寺本邦一氏より、平成 20 年 5 月 23 日に協会会員を対象とした講演会「地質調査に係る最近の動向」が測量地質健保会館大会議室で開催されました。

当日の公演内容は、以下の通りです。

1. 入札・契約の動向等について
 - 1) 入札・契約の動向等について
 - 2) コンサルタント業務等の入札・契約手続きについて
 - 3) コンサルタント業務の新たな入札・契約手続きについて
 - 4) 成果品の品質向上の取り組みについて
2. 地質リスクマネジメントについて(リスクの計量化とプロセスマネジメント)
 - 1) 研究概要
 - 2) 地質の技術顧問
 - 3) リスクマネジメント効果の計量化
 - 4) 事例収集とデータ様式の作成
 - 5) 今後の研究計画

3. 防災・維持管理分野における物理探査の適用

4. 日本の地質百選



会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 会員の代表者及び住所変更

株式会社東建ジオテック 東京支店

所在地 〒110-0016

東京都台東区台東 3 - 6 - 1 3

安達第三ビル 3 階

代表者 東京支店長 海谷 叔伸

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご報告をお願い致します。(協会事務局 TEL 03-3252-2963)



行事日程

日程	行事名・内容等
7月4日(金)	第1回土壌・地下水汚染調査実務講習会 「使える土壌・地下水汚染調査実務の基礎知識」 場所：東京文化会館 4 F 大会議室
7月12日(土)	平成20年度 地質調査技士資格検定試験 場所：T F Tビル 9 階
7月23日(水)	講演会(関東協会主催・東京協会協賛) 場所：ホテルラングウッド 演題 1. かぐやと月探査 講師 松井 快氏 2. 南極氷床掘削とドームふじ基地 講師 渡辺 原太氏
8月19日(火) ~22日(金)	平成20年度 防災展 (東京都主催,(社)東京都地質調査業協会参加協力) 場所：新宿駅西口地下広場 「イベントコーナー」



「技術ノート」のご紹介

技術ノートは、当協会技術委員会が技術情報誌として昭和62年12月に創刊号を発行して以来、平成20年7月現在で第40号に達しています。

東京を舞台とする様々な話題の中に地形、地質との関連又は基礎工学的な話を織り込みながらその歴史や現在を伝える内容となっています。



- 技術ノート既刊リスト -

No	タイトル	発行年月
1	東京都の地形区分図・地質断面図	S62.12
2	超高層ビルの地質と基礎形式	S63. 3
3	江戸城なりたち、その地形・地質との関係	S63. 7
4	東京湾の埋立、その歴史	S63.10
5	東京の川と水	H 1. 3
6	建築基礎工法の変遷、その地質との関係	H 1. 8
7	隅田川の橋、その地質と基礎形式	H 1.12
8	東京の地下鉄	H 2. 5
9	東京の石	H 2.11
10	新東京都庁舎	H 3. 3
11	東京の遺跡	H 3. 7
12	東京の高速道路	H 3.12
13	東京の温泉	H 4. 3
14	都内の庭園	H 4. 9
15	山手線	H 5. 3
16	東京のベイエリア	H 5.10
17	東京の下水道	H 6. 3
18	東京のエネルギー	H 6. 9
19	東京の山	H 7. 3
20	東京の上水道	H 7. 9
21	東京の低地	H 8. 3
22	東京の運河	H 8.10
23	東京のトンネル	H 9. 3
24	東京の防災	H 9. 9
25	東京の川・神田川	H10. 3
26	東京の台地	H10.10
27	東京の道	H10.12
28	東京の水辺	H11. 3
29	東京のまちなみ	H11.10
30	首都圏を支える鉄道網	H12. 3
31	東京の公園	H12. 9
32	東京のお酒	H13. 3
33	三宅島	H13. 9

34	大江戸線	H14. 3
35	東京の野菜	H14.10
36	東京の斜面と災害	H16. 2
37	東京湾	H16.11
38	多摩川	H17.11
39	東京の地名と地形	H18.11
40	隅田川	H19.11

当協会HP (<http://www.tokyo-geo.or.jp/>) からPDFファイルで読むことができます。

お知らせ

・土質・地質技術者生涯学習協議会へ入会

建設系CPD協議会へ平成20年4月より入会しました。

今後、講演会、講習会等は [GEO schooling Net] を活用して申し込み下さい。参加終了者はCPDポイントを付与します。

・編集後記・

前任者の転勤に伴い4月より後任として総務委員の仲間入りをいたしました。

5月23日に開催されました第21回通常総会に受付のお手伝いで参加させていただきました。

まだまだ不慣れな所も多々ありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

(総務委員 M.H)



東地協ニュース 2008.夏 第14号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

